

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

'20 旅立ちを前に

高校生活を振り返って

— 1 —

た。

勉学に励む中で、身にしまったのは時間の大切さだった。「勉強できるのは学生の今だけ。勉強することはたくさんあって時間が足りないくらい。親に授業料を払ってもらい、先生から教わっているという気持ちを持たないといけない」

田辺市龍神村出身で高校では寮生活。食事や洗濯された衣類が用意されていることが当たり前ではないと気づき、周りへの感謝の気持ちも芽生えた。春から和歌山工業高等専門学校(御坊市)の電気情報工学科に編入する。和高校に通う兄から、高専3年生の時点で大学1年生の内容も学んでいると聞いたため、高専の授業に付いていくための勉強にも取り組んでいる。

高校入学当初、将来について明確な目標を持っていただけではなかった。田辺工業高校では卒業後に就職する生徒が多いが、2年生の頃に「自分はどうしたいか」と見つめ直した時、学問を追究したいと思いついた。

時間の大切さ学ぶ

でいる。

「目に見えないものを学び、理解することで今まで常識が変わるのが面白い」。これからの学びに熱い思いをのぞかせた。

(安井夕記)



田辺工業 情報システム科

おがわ つよし

小川 剛史君 (18)

クラブ活動や勉強など、それぞれの目標に向かって打ち込んだ高校生活。田辺地方の高校を卒業する3年生に思い出を振り返ってもらった。